

2014年5月10日

公益財団法人オイスカ啓発普及部副部長
海岸林再生プロジェクト吉田 俊通 様

信越化学労働組合磯部支部
書記長 山田 茂

海岸林再生プロジェクトへの協力について

新緑の候、海岸林再生プロジェクトの皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、貴公益財団法人へ僅かな金額ではありますが寄付をさせていただきました。信越化学労働組合磯部支部には、30歳以下の組合員で構成している「YG（名称）」という専門部組織があります。YGでは、社会貢献活動として2004年から当工場の2箇所の食堂に於いて「真心¥10募金」と題した取り組みをおこなっております。10円という小さな金額ですが、一人ひとりの組合員や従業員のご協力、「真心」が集まれば大きな力になるとの思いで10年前から取り組みを進めてきました。

集められた募金は、毎年群馬の地方紙であります上毛新聞社「愛の募金箱」に寄付し、県内の各障がい者施設等の運営に役立たせていただいております、この10年間の募金総合計金額は255,728円になっております。

今後も信越化学労働組合として、労働組合の役割と責任でもある復興支援に繋がる活動を継続していきたいと考えており、機会をつくり募金活動だけでなく海岸林の植林にも参画してみたいと思っております。

貴法人の益々のご発展と早期に海岸林が復興できますことをご祈念申し上げます。

以上